

フェアプレイ
インタビュー

【フリースタイルスキー・モーグル】
原大智選手



プロフィール

生年月日: 1997年3月4日
出身地: 東京都渋谷区
好きな食べ物: ケーキ

平昌オリンピック
男子モーグル
銅メダル獲得!

両親への感謝を糧に
目指すは金メダル!

東京から冬季五輪メダリスト誕生

平昌オリンピックのフリースタイルスキー・モーグルで銅メダルを獲得した原大智選手。東京都出身の選手として冬季オリンピック初のメダリストとなりました。
原選手は両親の影響で3歳からスキーを始め、東京に住みながら、冬は新潟県のスキー場に毎週末通っていました。中学卒業後は技術を磨くため、モーグルの強豪国であるカナ



ダに留学しました。「慣れない海外生活は辛いことばかりでしたが、自ら行動する力がつき、精神面が強くなりました」と振り返ります。

支えてくれた両親への感謝
そんな原選手が語ってくれたのは両親への感謝でした。「僕が本気でやりたいことを、両親も本気で応援してくれました。車で片道3時間かかるスキー場まで送り迎えをしてくれたり、選手としても人間としても大きく成長できると信じ、留学を支援してくれたりしました。両親の支えがあったからこそ獲れた銅メダルです」
そして「感謝の気持ちを糧に、次は金メダルを目指します」と意気込みました。

結果を受け入れ、より高みへ

モーグルはコブのある急な斜面を滑走しながら、コースに設置されたジャンプ台で技を決める競技です。ゴールまでの速さと、滑走時のターンやジャンプの美しさに点数がつき、順位が決まります。

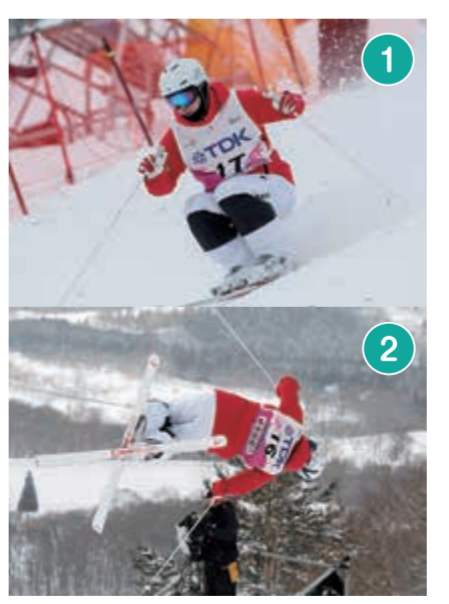
原選手はフェアプレーのための心構えを教えてくださいました。「モーグルは採点競技なので、採点結果に納得がいけない時もあります。しかし、それは自分に実力がないからだと考えるようにし、結果を受け入



れ、次への原動力としています。競技をより楽しむためにも、誰もが評価する技術・精神・体力で他を圧倒し、良い結果につなげたいです」

原大智選手に聞く
フリースタイルスキー
モーグルはここに注目!

- 1 頭の位置をぶらさず、コブを乗り越える
- 2 アクロバティックなジャンプ



選手を陰で支える人たちへの感謝

ウエイトリフティング
三宅宏実選手

フェアプレイストーリー

ウエイトリフティング
日本代表の
三宅宏実選手

リオデジャネイロ
オリンピックで
銅メダルを獲得した

その行動には
三宅選手の
感謝の思いが
込められていた

メダルが
確定した瞬間
彼女はバーベルに
抱きついた

ある時番組の企画で
バーベルのシャフトを
作っている
職人さんたちに会い

全部手作業
なんですか!?

「選手のために細部まで
こだわりたい」と
という職人さんたちの
思いを知った

この人たちの
気持ちに
応えるために
頑張ろう

私にはコーチや仲間が
支えてくれる
人たちが
たくさんいる

また
サポートしてくれる
人たちへの感謝を込めて
道具の手入れも
入念に行った

より一層
気合を入れて
練習に励んだ

これからも
苦しいことは
あるかもしれないが
支えてくれる人たちの
感謝を胸に

ベストを尽くす
だろう

このことをきっかけに
支えてくれる
多くの人の存在を
改めて感じた三宅選手は

リオデジャネイロ
オリンピックを見た行動も
こういった思いが
表れたものだったのだ